

かんきょう四季

令和4年度版

第38号 2023年4月



野鳥観察会にて麻布大学野鳥研究部により撮影

相模原の環境をよくする会

ごあいさつ

相模原の環境をよくする会
会長 浅見 佳寿
(日本山村硝子株式会社)
(東京工場)



穀雨の候、会員の皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本年度より「相模原の環境をよくする会」の会長を引き継がせて頂きました。新型コロナウイルス感染症が収まりきらず難しい判断が求められる環境はわかりませんが、皆様のご協力のもと相模原の環境維持向上に努めて行きたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

さて、当会は市内の工場が中心となって、昭和43年に河川を汚濁から守るために各種調査研究、啓発事業等を通じて水環境を保全することを目的に設立した「相模原の河川をきれいにする会」と、昭和53年に大気汚染防止技術の取得、公害防止施設の適正な管理などを通じて、大気環境の保全に努めることを目的に設立した「相模原の青空を守る会」が、昭和60年に水質、大気だけでなく、より広範な環境問題に取り組むために合併し設立致しました。今年で39年を迎えることになります。長期にわたり相模原の環境の維持向上に努めてきた当会を40周年に向けてより発展させる為、会員の皆さまのみならず関係団体も巻き込んだ活動に取り組んでいきたいと考えております。

昨年度はロシアによるウクライナ侵攻や原油・ガスの高騰による物価上昇、急激な円安、そして安部元首相の暗殺等、政治経済において問題が山積した一年でした。一方で、冬季北京オリンピックでは日本代表が冬季オリンピックで過去最多となる18個のメダルを獲得し、パラリンピックでも7個のメダルを獲得しました。また、サッカーワールドカップでは強豪国を相手に次々と勝利し、日本中を盛り上げた年でもありました。

そうした中で一昨年は実施できなかった「さがみはら環境まつり」や「自然観察ウォッチング」「先進事例等視察」を感染防止に努めながら実施する事ができました。関係者の皆さまのご協力あつての事です。感謝申し上げます。

加えて今年も日本でもマスク着用や新型コロナウイルスの5類への見直しなどでコロナ前の環境に近づきつつあります。段階的ではありますが、感染防止を徹底しつつ各事業を実施し皆さまの環境意識の向上に寄与していきたいと考えております。

会員の皆さまにおかれましては、会の目的である「公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与すること」の実現に向け、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

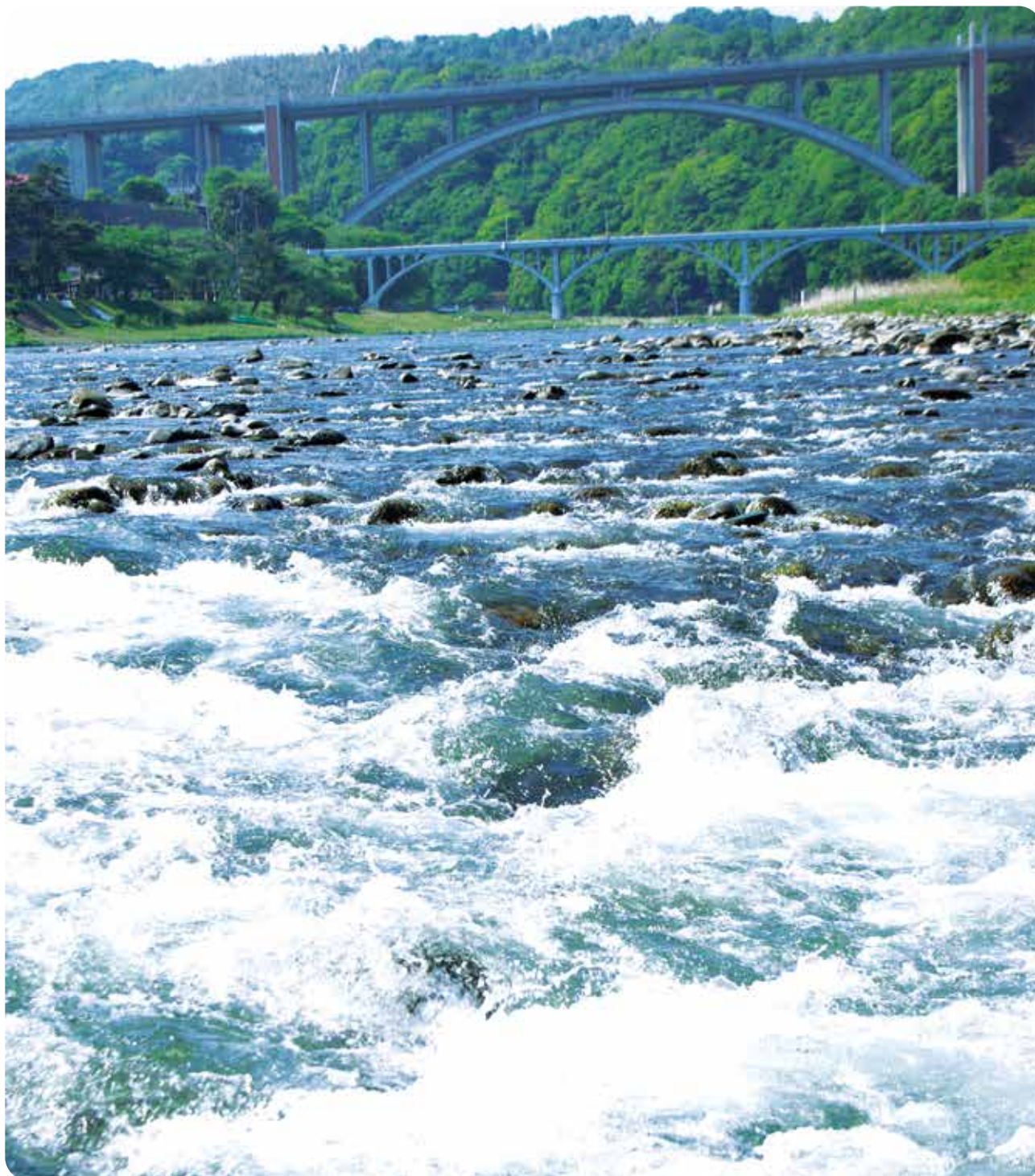
目 次

■ 相模原の環境をよくする会 活動概要	1
地球のために わたしたちが今、できること。	
■ 令和4年度活動報告	
全体活動	3
市民向け体験事業	5
調査事業	6
会員向け啓発事業	7
広報事業	9
その他の運営・活動記録	11
■ 調査結果報告	
河川生物相調査結果報告書	12
• 名 簿	
• 相模原の環境をよくする会会則	
• 相模原の環境をよくする会細則	
• 表彰に関する規定	
• 入会申込書・退会届・変更届 様式	



地球のために わたしたちが 今、できること。

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の工場・事業所など、100余りの企業・団体等が集まり、
公害の未然防止と、豊かな自然を守り、
快適な環境をつくるための活動を続けている団体です。



撮影：写真家 高橋ざいち氏

■ 事業活動に活かせる環境情報を提供しています

- 会員の要望に基づいたテーマでの環境セミナーや環境保全・公害防止について先進的な取組を進めている事業所の視察など、会員の事業活動に役立つ活動を行っています。

■ 市民のみなさまと共に相模原の環境を見つめ直しています

<主な啓発事業>

- 自然観察ウォッチング
- 夏休み環境教室
- 市民まつりにおける「かんきょうフェア」
- さがみはら環境まつりへの参加
- 各種キャンペーン

<調査・研究事業>

- 市内6河川9地点における河川生物相調査
- 先進事例等視察
- 環境セミナー

※令和2～4年度は一部事業を中止しています。

会ホームページをぜひご覧ください

<https://www.yokusurukai.jp/>

当会の活動を広く紹介し、タイムリーな情報をお知らせするホームページを運営しています。



令和4年度活動報告

全体活動

■ 令和4年度通常総会

令和4年度通常総会を令和4年4月20日（水）から令和4年4月28日（木）にかけて書面にて開催しました。
委任状を含めた82会員の書面回答のもと、令和3年度の「事業報告」及び「収支決算報告」、並びに令和4年度の「事業計画」及び「収支予算」について承認されました（議長：日本山村硝子（株）浅見氏）。

開催日：令和4年4月20日（水）から令和4年4月28日（木） 開催方法：書面開催 出席者：82会員（委任状込）

■ かんきょうフェア2022

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。



■ 第18回 さがみはら環境まつり

令和4年6月19日(日)「第18回さがみはら環境まつり」が3年ぶりにミウヰ橋本において開催されました。開催を実現した吉田実行委員長を始め実行委員会メンバーの熱い思いと、出展いただいた各ブースでの皆さまの頑張りにより会場は大盛況でした。新型コロナウイルス感染防止策として各ブースでの消毒の実施、マスクの徹底など、十分な感染対策を講じたうえで開催され、5F ステージでは「らんま先生」と「クワガタ忍者」をゲストにお招きし、参加型環境エンターテインメントステージを実施しました。また、出展ブースでは環境について楽しみながら学んでいただく体験型の催しなどを実施しました。

当会より7社20名の役員が参加し、6F 会場で環境パネル(東京ガスネットワーク(株)・東京電力パワーグリッド(株)・相模原市) 1F 会場で電気自動車(日産自動車)、燃料電池自動車(相模原市)の展示を行いクイズラリーを実施しました。

事前に準備した回答用紙では足りず、回答用紙を急遽追加し、ゴールした来場者への景品も使い切るほど多くの市民の方々にご参加いただき環境への取組みをご理解いただく展示となりました。

家族で会場を訪れた市内在住の方からは、「環境に関するいろいろな取組みがあり勉強になった」「子どもたちが参加できるブースもたくさんあり、良い体験をさせることができ良かった」とコメントをいただきました。大人も子供も環境意識を高めることができ、改めて今できることを学べた良い機会になったと思います。

東京ガスネットワーク(株) 箱崎

実施日：令和4年6月19日(日) 場 所：ミウヰ橋本インナーガーデン 来場者：約3,500人
参加役員：三菱電機(株)、日本山村硝子(株)、東京ガスネットワーク(株)、東京電力パワーグリッド(株)、プライムデリカ(株)
日産自動車(株)、日本板硝子(株)



市民向け体験事業

■ 自然観察ウォッチング「野鳥観察会」

令和5年2月25日(土)、自然環境への関心や環境保全意識の向上を図るため、市民を対象とした「野鳥観察会」を県立相模原公園および相模原沈殿池で開催しました。

参加者は42名で、市民25名、麻布大学野鳥研究会8名、相模原の環境をよくする会9名(役員5名、事務局4名)でした。

野鳥ウォッチング開始前に参加者へ「野鳥観察の基礎知識」として麻布大学野鳥研究部の方々から双眼鏡等の使い方及びバードウォッチング(確認できる野鳥の種類など)の楽しみ方を教わりました。

前日の夜は雨でしたが、当日は天候に恵まれ参加者は4班に別れ「野鳥観察がスタート」されました。

発見した野鳥やどこから聞こえてくる野鳥の鳴き声などにつき、麻布大学野鳥研究部の方々からガイドを頂き、双眼鏡を覗き込む参加者は目を輝かせ飛び立つ野鳥などをウォッチングされていました。

また、「相模原沈殿池」ではフィールドスコープを覗き水辺に訪れる野鳥を観察すると、羽を休める野鳥や水辺を泳ぐ野鳥などを見ることができ、穏やかな風景になぜか心が癒されました。

楽しかった「野鳥観察会」も終わり発見した野鳥の種類の確認「鳥合わせ」を参加者と麻布大学野鳥研究部の方々が行い、参加された方々の笑顔を見て嬉しくなりました。

参加者の皆様、麻布大学野鳥研究部の皆様、どうもありがとうございました。

(株)ニコン 久保田

実施日：令和5年2月25日(土) 場所：県立相模原公園、相模原沈殿池 他 参加者：25人
講師：麻布大学野鳥研究部
参加役員：(株)ニコン、三菱電機(株)、東京電力パワーグリッド(株)、SWCC(株)



市民の皆様と一緒に自然と接する貴重な機会でもある環境保全活動へ参加してみませんか？
ご興味がある方はお気軽へ事務局までご連絡ください。

調査事業

■ 河川生物相調査 5月

相模原の環境をよくする会では、相模原市内の河川の現況と環境変化を把握することを目的に河川生物相調査を行っています。対象河川は、境川4地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川で、役員5名と行政から6名の計11名で3班に分かれて令和4年5月20日に実施しました。

今年度、担当として初めての参加となりましたが、ベテランの方に調査方法を教えて頂きながら調査を行いました。川の流が速いところでは生物がとどまらず流れてしまっているようであまり生物を見つけることができませんでしたが、川の流が緩やかなところでは、河川によりサワガニ、ヨコエビなど発見することができ、生物相の違いが面白く地域により特性が出ていました。また、河川生物では綺麗な場所に生息しているプラナリアと汚れた場所に生息しているヒルは初心者にはあまり区別がつかない部分がありましたが、よく見ると目のあたりに違いがあり生物相の勉強にもなりました。

水質の確認は捕獲した生物の個体数から生息する水質階級と照らし合わせて点数をつけていき、合計の点数が一番高かった水質階級が河川の水質結果といった方法で確認を行いました。各班の結果を確認すると、きれいな箇所が8地点、やや綺麗な箇所が1地点でした。

会社の近くでもこのような生物が生息していると知り、相模原市の豊かな環境を守り未来の子供たちにこの環境を繋げていかななくてはならないと改めて感じました。



(プライムデリカ(株) 長倉)

実施日：令和4年5月20日(金) 場所：市内6河川9地点
参加役員：三菱電機(株)、三菱重工業(株)、東京電力パワーグリッド(株)、プライムデリカ(株)

河川生物相調査 10月

令和4年10月14日 河川生物相調査を行いました。河川生物相調査とは、生息する生物の種類・個体数を確認し水質階級を評価するものです。この相模原水系での調査は昭和51年より定点観測を続けており、河川の経時変化を見ています。

今年も、引続き境川4地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計9地点を調査しました。調査当日は曇り時々雨、エコパークさがみはらより調査員9名が3班に分かれて各地に向かいましたが、前日の雨による水量増や急流になったため調査は危険と判断され断念した箇所もありました。

調査内容は、指標生物としてカワゲラ、ヤゴ、タニシ、ヨコエビ等28種類の生物の採取ですが、私が担当した河原のような場所は雨によりいつもより急流だったり、濁りのためか石をひっくり返してもほとんど採取はできませんでした。班によっては調査に熱が入ってひざ下長靴を履いているにもかかわらず、片足水が入ってしまったとか、転んでしまったなどハプニングもありました。採取した生物を同定するために肌寒い雨の中、虫眼鏡と図鑑を使う苦労もありました。採取した生物の種類と数で水質を決めていきますが、ヒルやイトミミズでは「よごれた所」「大変よごれた所」となり、サワガニやヤゴ、カゲロウなどいれば「きれいな所」となります。今年は4/9カ所調査でき、3カ所は「きれいな所」1カ所は「ややきれいな所」となりました。

これからの日本の未来を担う子供たちに、自然豊かな河川敷を残すため引き続き相模の水辺を見守っていきたいと思いました。



(SWCC(株) 長谷川)

実施日：令和4年10月14日(金) 場所：市内4河川4地点(5地点調査実施できず)
参加役員：三菱電機(株)、東京電力パワーグリッド(株)、プライムデリカ(株)、SWCC(株)

会員向け啓発事業

■ 令和4年度 第1回

『環境セミナー「エコアクション21 相模原セミナー」事前説明会』

令和4年8月19日（金）相模原市との共催により、市内事業者の皆様「エコアクション21」の認証・登録を丁寧にサポートする全5回（9月～3月）のプログラムである『エコアクション21相模原セミナー』の事前説明会を開催しました。

エコアクション21地域事務局かながわより制度についての紹介、役員会社のプライムデリカ株式会社より実際の活動について紹介をいただき、制度と具体的な活動内容についての理解を深める機会となりました。



実施日：令和4年8月19日（金） 場所：エコパークさがみはら
講師：エコアクション21地域事務局かながわ、プライムデリカ(株)
参加者：21社27名

■ 令和4年度 第2回

『環境セミナー「脱炭素社会に向けた事業者の取組について』』

相模原市は、令和2年9月の「さがみはら気候非常事態宣言」において、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す決意を表明し、この目標達成に向けた「さがみはら脱炭素ロードマップ」を令和3年8月に策定しています。脱炭素の実現のためには、全市一丸となつての取組を要することから、相模原の環境をよくする会会員のより一層の取組促進を図るため、国立環境研究所にて脱炭素都市等の研究をされている研究者の方を講師にむかえ、セミナーを開催しました。



※会員専用ページに掲載している視聴URLからアーカイブの視聴が可能です。

実施日：令和5年2月21日（火）
場所：エコパークさがみはら 相模原の環境をよくする会公式 YouTube チャンネル
講師：国立環境研究所
参加者：現地会場8名、オンライン21名（最大同時接続数）

■ 令和4年度 先進事例等視察

令和4年11月21日(月)に、さがみはらの環境をよくする会関係者総勢23名が参加して、「(株)JERA 川崎火力発電所」を先進事例として視察しました。コロナ禍により、約3年ぶりの視察となり、オンラインでの実施となりましたが、JERA 社の方4名により非常に分かりやすい説明をしていただきました。

ここ川崎火力発電所では敷地の面積が28万㎡(東京ドーム約6個分)と広大で、そこで巨大な装置を使用して火力発電を行っており、近隣の工場や一般世帯に対して送電しています。

川崎火力発電所が出来た1961年においては、汽力発電で燃料は主に石炭が使用されていたようですが、その後公害問題に対処する為、1984年以降はLNG(液化天然ガス)へ転換され、現在ではMACC(1,500℃級のコンバインドサイクル発電)方式とMACC II(1,600℃級のコンバインドサイクル発電)方式を用いて1号列系3機と2号列系3機で操業し発電して最大で342万kWの発電が出来、これは1万4千世帯分の電気に相当するそうです。

燃料は油田やガス田から産出される天然ガスです。これは元々は“ガス状”ですが、約-162℃以下に冷却すると体積も1/600程度に圧縮され運搬効率が格段に向上します。この液化ガスを世界各国から専用の船で毎日の様に運んでいるそうです。

液化により燃料が小さくなる事が想像つきませんでした。JERAの方によりやっていただいた液体窒素の実験では、液化窒素が入ったビーカーにゴムボールを入れると瞬時に固くなり、空気で膨らんだ風船をこのビーカーに入れると一瞬で小さく縮みました。その後、外気に出すと風船は元の大きさに戻りました。面白い実験で不思議な感じになりましたが、何となく低温と圧縮の様子が解かった気がしました。

中央制御室では巨大な装置を多数のモニターで監視していて、何か有ったらすぐに対処する重要な業務だと思いました。

また、最新のMACC IIは長さが40m、重量が8,000tととても巨大な装置で、メンテナンスも約30日かかるそうで大変驚かされました。

2050年までにLNGと水素を混ぜて燃やすことでCO₂排出を減らし、更に水素のみで発電してCO₂をゼロにするといった目標があります。

ぜひ、この目標を達成して環境にやさしい発電をしてもらいたいと思います。

(日本板硝子(株) 平澤)

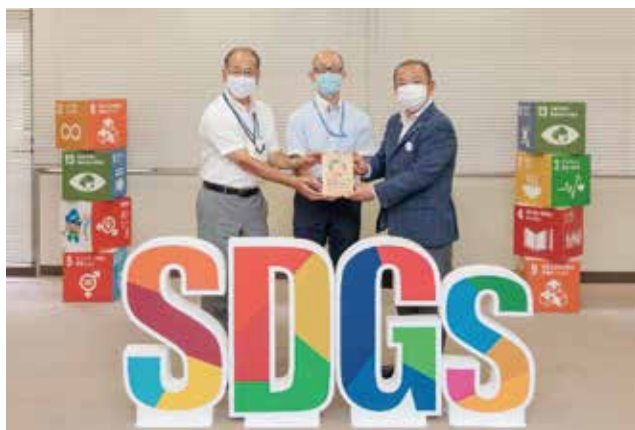
実施日：令和4年11月21日(月) 場所：(株)JERA 川崎火力発電所(オンライン)
参加者：会員13社

広報事業

■『さがみはら SDGs パートナー』に登録

SDGsの達成に向けた取組や地域課題の解決、SDGsの普及啓発に取り組む企業・団体等が集まるさがみはらSDGsパートナーに登録しました。今後も環境保全活動に取り組み、SDGs未来都市さがみはらに貢献してまいります。

また、相模原市内のSDGsを広報するメディアである「相模原タウンビジョン」に会長インタビューが掲載されました。



■『フォト投稿キャンペーン』

SNSのハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用した写真投稿キャンペーンを通年で開催しました。当初は会員向けでしたが誰でも参加できるキャンペーンになりましたので、今後もハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用して環境に関する写真を募集するとともに会の活動等を発信していきます。

応募作品（一部抜粋）



撮影者：めるこ さがみさん



撮影者：植田さん



撮影者：T.Iさん

■ 会報「かんきょう四季」の発行

会報「かんきょう四季」は、会員、県内水質保全団体、県、市、その他多くの方々に、会の活動状況を広く知っていただくために毎年発行しています。

令和4年4月発行の第37号では各事業の活動報告のほか、過年度からの継続実施を行っている河川生物相調査報告等を掲載しています。



発行月：令和4年4月 発行部数：250部
配布先：会員・関係機関等

■ ホームページ

パソコンからもスマートフォンからも閲覧しやすいデザインで、当会の情報を発信しています。

会員や事務局がイベントや研修などの情報を発信できる会員限定の情報交換掲示板もありますので、是非、ご活用ください。

「相模原の環境をよくする会 HP <https://www.yokusurukai.jp/>」



■ SNS (Twitter、YouTube) による発信

環境保全に関する情報発信やイベント開催のお知らせなど Twitter を運用するほか、環境セミナー等の配信のため YouTube アカウントを開設しています。

当会の活動や会員の皆様の取組等の情報発信を行っていきますので、是非フォロー・チャンネル登録をお願いいたします。

Twitter アカウント：@s.kankyoyokusuru

YouTube チャンネル URL：

<https://www.youtube.com/channel/UCemVJ8oNML0H35NwxWgAdcw>



Twitter



YouTube

その他の運営・活動記録

役員会の開催

(1) 第1回役員会

開催日：令和4年4月15日（金）

- 議 題：1. 令和3年度事業報告及び収支決算について
2. 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 令和4年度通常総会及び感謝状について

(2) 第2回役員会

開催日：令和4年9月9日（金）

- 議 題：1. 令和4年度上半期事業報告及び下半期事業予定について
2. 文書の廃棄について

(3) 第3回役員会

開催日：令和5年2月21日（火）

- 議 題：1. 令和4年度事業報告について
2. 令和5年度事業計画（案）について
3. 令和5・6年度 役員（案）について
4. 令和5年度総会及び感謝状贈呈対象者について

結果報告者



三菱電機(株)
渡部 一浩



東京電力パワーグリッド(株)
竹内 信義



プライムデリカ(株)
高橋 哲也

河川生物相調査結果報告書

1. はじめに

本調査は、当会の前身体である「河川をきれいにする協議会」の会員の中から調査部員が募られ、昭和51年から開始したものである。当初、境川5地点で始まった本調査は、その後、調査員の交替、調査地点の変更等を経て、47年目を迎えた現在、市内6河川9地点で春と秋の年2回実施している。

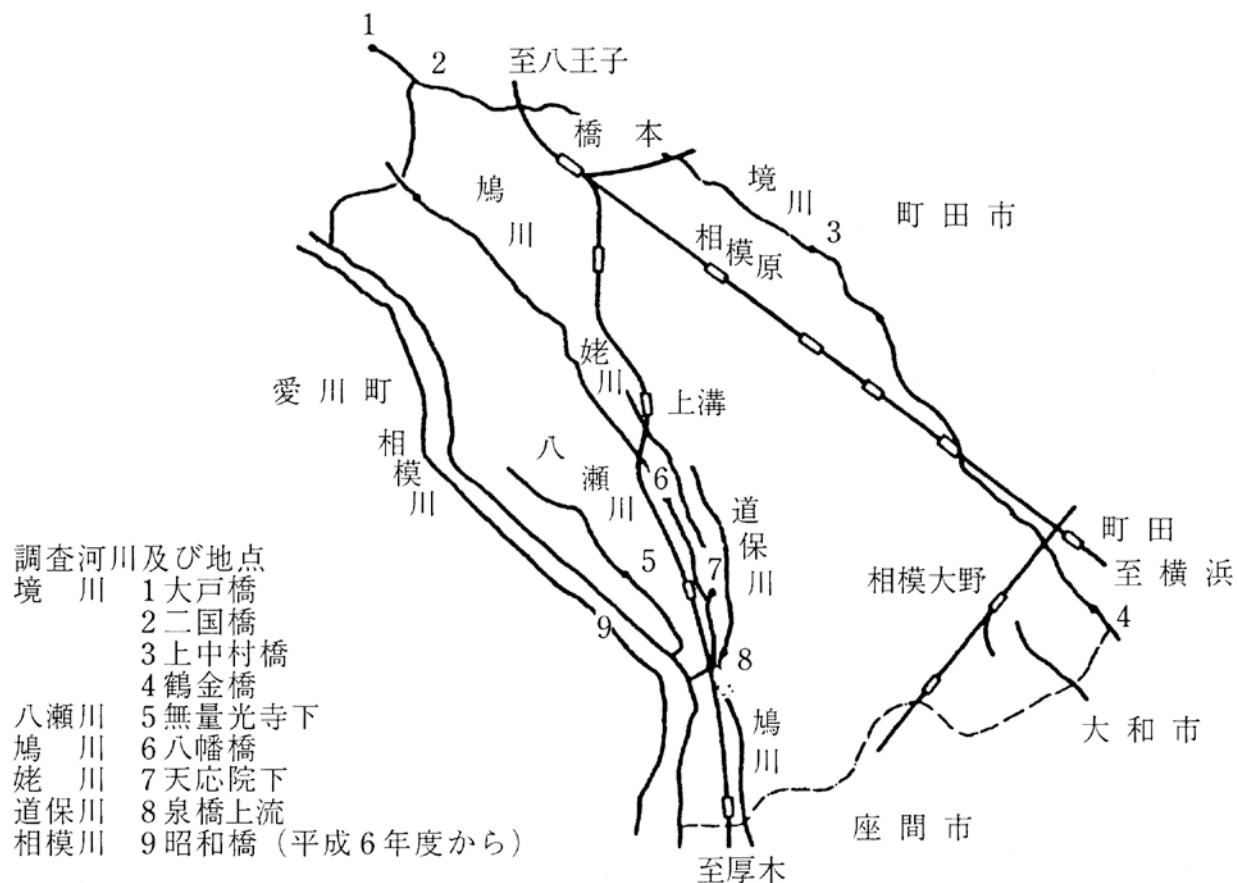
令和4年度は、5月20日と10月14日に調査を実施した。以下、調査結果を報告する。

2. 生物相調査の実施

河川の水質調査の方法としては、BOD、CODなどの理化学的調査の他に、汚濁の進行に応じて水生生物の生息範囲が限られてくることを利用した生物学的な水質調査がある。

この方法は、比較的簡易な方法であること、市民の方々にも親しみが持ちやすい等の利点があり、本会としても河川浄化啓発活動の一環として取り入れてきた。

3. 調査河川と調査結果



境川水系

調査地点	①大戸橋		②二国橋		③上中村橋		④鶴金橋	
	5/20	10/14	5/20	10/14	5/20	10/14	5/20	10/14
気 温 ℃	25	18	25	水量が多く調査できず	25	水量が多く調査できず	27	水量が多く調査できず
水 温 ℃	17	16	17		19		19	
pH 試験紙	7.0	6.0	8.0		8.0		7.0	
に ご り	なし	なし	若干		あり		なし	
臭 気	なし	なし	なし		なし		なし	
水 深 cm	10	15	20		20		16	
川 幅 m	1.5	2	3		3.5		6	
河 床	こぶし大の石・小石と砂	頭大の石・小石と砂	頭大の石・泥		頭大の石・泥		こぶし大の石	
流速 sec / 5m	27	9.81	14		1分40秒		29	

大戸橋（境川）

大戸橋は、南高尾山稜の東側の草戸山を源流とする境川の最上流に位置しており、周囲を森林に囲まれた小川に掛かる小さな橋である。

5月の調査では水質階級はOSを維持、優占種はカゲロウであった。前回確認されたカワニナ・カゲロウ・トビケラは今回も確認した。令和元年には確認されず今回確認された生物はプラナリアである。その他として、アメンボを確認した。

10月の調査では水質階級はOSを維持、優占種はカワニナであった。前日も確認されたカワニナ・カゲロウ・トビケラは今回も確認した。前日からの雨の影響により、例年より水量が高かった。川の流れが速く、5月に報告しているプラナリアを確認することができなかった。

水質階級は5月・10月の調査とも前回調査時と変わらずOSであり、「きれいな所」が維持されている。

二国橋（境川）

二国橋は、大戸橋からやや下流に位置し、緑区相原と町田市に架かり、町田街道の相原十字路交差点近くにある約10m程の橋である。川は相模原市と町田市の境を蛇行して流れ、周囲は住宅街に囲まれている。

5月の調査では水質階級はβ mであり、前回より悪化が見られた。優占種はカゲロウとヤゴとヒルであった。全て個体数1であった。その他として、アメンボを確認した。

10月の調査では水量が例年より15センチほど多く、草木が生い茂っており、残念ながら調査することが出来なかった。

上中村橋（境川）

上中村橋は、神奈川県と東京都の境界近くに位置し、周辺には宮下工業団地や米軍相模補給廠などがある。

5月の調査では水質階級はOSを維持、優占種はヤゴであった。調査時に確認された個体はヤゴのみで、個体数も1であった。令和元年に確認されたイトミミズ、カゲロウは今回確認されなかった。

10月の調査では水量が例年より30センチほど多く、流れも速かったため残念ながら調査することが出来なかった。

鶴金橋（境川）

境川は東京都と神奈川県の県境の流れる河川であり、橋周囲は住宅街に面している。

5月度調査の優占種はカゲロウで、その他は赤ユスリカ、プラナリア、ヤゴの4種類の指標生物が採取され令和2年10月の調査時より2種多く採取された。

水質に関しては令和2年10月の調査時より水質階級が1段階上り OS となり、水質改善がみられた。
10月度調査では、前日からの続く降雨の影響で川の水量が多く、流れが速かったため調査は中止となった。

相模川水系

調査地点	①無量光寺下		②八幡橋		③天応院下		④泉橋上流		⑤昭和橋	
	5/20	10/14	5/20	10/14	5/20	10/14	5/20	10/14	5/20	10/14
気温 ℃	24.5	草木が生い茂っており調査できず	24.5	草木が生い茂っており調査できず	26	20	27	21	24	21
水温 ℃	18.5		19		19	18	18	17	18	18
pH 試験紙	7.0		7.0		7.0	8.0	7.0	7.0	7.0	7.5
にごり	なし		なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
臭気	なし		なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし
水深 cm	20		20		10	45	20	22～23	20	50
川幅 m	2.5		4		8	8	1.2～1.3	1.5	20	25
河床	頭大の石・小石と砂		頭大の石・小石と砂		頭大の石・小石と砂	頭大の石・こぶし大の石	こぶし大の石	こぶし大の石	こぶし大の石・小石と砂	頭大の石
流速 sec / 5m	8.71		7.46		19.5	9.5	12	10	18.07	7.6

無量光寺下（八瀬川）

八瀬川は相模原市を流れる延長約5kmの中小河川であり、上田名付近の田名堀之内にある「大杉の池」に源を發し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する。調査地点は、八瀬川の下流に位置し、近年開通した圏央道の相模原愛川 IC の近くでもあるが自然環境が比較的保たれている場所である。河川状況は、川幅2.5mほどの小川であり河床は小石や砂利で両岸は土となっている。

5月の調査では優占種はカワニナであり、その他サワガニ・カゲロウ・ヤゴ・トビケラの計5種類の指標生物が確認された。また、指標生物以外ではメダカが確認された。

10月の調査は、調査地点へ降りるルートが草木で覆われていたため調査を断念した。

水質階級は5月が OS であることから良好な環境が維持されているといえる。

八幡橋（鳩川）

鳩川は内出橋下流端に源を發し、上九沢・上溝地区等を経て下溝地区で姥川・道保川と合流し、また中流の磯部付近で鳩川分水路・鳩川隧道分水路によって上流域の水を相模川へ放流している。調査地点は鳩川の中流域の上溝地区に位置し、周辺は住宅地になっている場所である。河川状況は両岸コンクリートブロックに覆われているが、河床は砂利や小石になっており一部自然河川に近い状況である。

5月の調査では優占種はトビケラであり、次にカゲロウが多かった、その他アセラス・サワガニ・ヤゴの計5種類の指標生物が確認された。また、指標生物以外では魚が確認された。

10月の調査は、調査地点へ降りるルートが草木で覆われていたため調査を断念した。

水質階級は5月が OS であることから、良好な環境が維持されているといえる。

天応院下（姥川）

姥川は相模原市緑区下九沢から中央区上溝にかけてのハケと呼ばれる段丘崖の湧水に源を發し横山丘陵の山際を流れ、下溝地内の天応院付近で鳩川と合流する延長約6.5kmの河川である。調査地点の河川状況は護岸及び河床はコンクリートであるが一部、頭大の石や小石・砂も入り交じっている自然河川に近い状況となっている。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、次にトビケラが多かった、その他プラナリア・ヨコエビ・ヤゴ・ヒラタドトムシの計6種類の指標生物が確認された。また指標生物以外ではカワエビが多数確認された。

10月の調査では優占種はカワニナであり、その他ヒル・カゲロウの計3種類の指標生物が確認された。また指標生物以外ではカワエビが多数確認された。

水質階級は5月調査ではOSであったが10月の調査では β mとなった。過去の調査ではOSが継続した時期もあったが近年においてはOSと β mを行き来しており、水質の悪化が懸念される。

泉橋上流（道保川）

道保川は湧水を水源とし河川周辺は公園などに整備され、道保川公園は環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれている自然豊かな環境に位置している。

5月度調査の優占種はカゲロウで、その他はカワニナ、ヤゴ、ヒラタドROMシの4種類の指標生物が採取された。また指標生物以外ではアメンボ、ゲンジボタルが採取された。

10月度調査の優占種はヤゴで、その他カワニナ、シジミ、カワゲラ、ヨコエビ、サワガニの6種類の指標生物が採取され5月調査時より2種多く確認された。その中で過去確認がなかったサワガニがみられ、周辺の自然環境と共に水質が維持されている。

昭和橋（相模川）

相模川は富士山麓・山中湖や忍野八海に源を発し、富士山北麓の水を集めながら山梨県大月市で笹子川と合流し、相模湖と津久井湖の二つのダム湖を経て相模原市域を流れて相模湾に注ぐ全長109kmの一級河川である。水道水・農業用水として用いられているほか、河川敷は市民や他から訪れる人達の憩いの場として利用され、潤水都市さがみはらの母なる川として親しまれている。調査地点は、昭和橋下流の広大な本川のやや浅瀬にあり、頭大の石や小石、砂が混在する場所である。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他プラナリア・カワゲラの計3種類の指標生物が確認された。指標生物以外ではミズムシが確認された。

10月の調査では優占種はカゲロウであり、その他カワゲラの計2種類の指標生物が確認された。

水質階級は5月と10月ともにOSとなり前回よりも改善が見られた。指標生物の種類が少ない点については雨天による増水の影響があったものと考えられる。

令和4年度 河川生物相調査結果一覧表 - 境川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					境川					
					os	βm	am	βp	αo	大戸橋		二国橋		上中村橋	
					5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■					—					—
軟体動物門	腹足綱	中腹足目	カワニナ科	カワニナ	■					—	+++				
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	■										
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■										
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ	■										
	二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■										
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■										
	ヒル綱			ヒル	■										
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■										
		端脚目	ヨコエビ科	ヨコエビ	■										
		十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■										
			サワガニ科	サワガニ	■										
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ	カゲロウ	■					++	+++	++			
		蜻蛉目	ヤゴ	ヤゴ	■										
		覆翅目	カワゲラ	カワゲラ	■										
		半翅目	タイコウチ科	タイコウチ	■										
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■					+					
		毛翅目	トビケラ	トビケラ	■					+					
		双翅目	アミカ科	アミカ	■										
			ガガンボ科	ガガンボ	■										
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■										
			ブユ科	ブユ	■										
			ユスリカ科	赤ユスリカ	■										
			シギアブ科	シギアブ	■										
		襀翅目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■										
			ミズスマシ科	ミズスマシ	■										
			ヒラタドROMシ科	ヒラタドROMシ	■										
月別採取生物種数					5	5	3			1		4			
地点別採取生物種数					10	OS	βm	3	—	OS	—	OS	—		
判 定					OS	OS	βm	—	—	OS	—	OS	—		

水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 am ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個 体 数 — ・・・ わずか (5以下) ++ ・・・ 中 位 (6~15) +++ ・・・ 多 い (16以上)

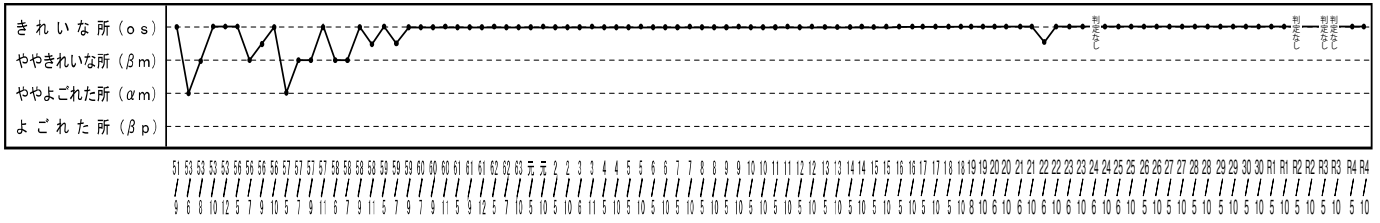
令和4年度 河川生物相調査結果一覧表 - 相模川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					八瀬川		鳩川		総川		道保川		相模川	
					os	βm	am	βp	αo	無農光寺下		八幡橋		天応院下		泉種上流		昭和橋	
					5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月			
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■														
軟体動物門	腹足綱	中腹足目	カワニナ科	カワニナ	■														
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	■														
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■														
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ	■														
	二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■														
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■														
	ヒル綱			ヒル	■														
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■														
		端脚目	ヨコエビ科	ヨコエビ	■														
		十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■														
			サワガニ科	サワガニ	■														
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ	カゲロウ	■														
		蜻蛉目	ヤゴ	ヤゴ	■														
		覆翅目	カワゲラ	カワゲラ	■														
		半翅目	タイコウチ科	タイコウチ	■														
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■														
		毛翅目	トビケラ	トビケラ	■														
		双翅目	アミカ科	アミカ	■														
			ガガンボ科	ガガンボ	■														
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■														
			ブユ科	ブユ	■														
			ユスリカ科	赤ユスリカ	■														
			シギアブ科	シギアブ	■														
		襀翅目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■														
			ミズスマシ科	ミズスマシ	■														
			ヒラタドROMシ科	ヒラタドROMシ	■														
月別採取生物種数					5	5	5	5	6	3	4	6	3	2					
地点別採取生物種数					5	—	OS	—	OS	—	OS	βm	OS	OS	OS	OS			
判 定					OS	—	OS	—	OS	βm	OS	OS	OS	OS					

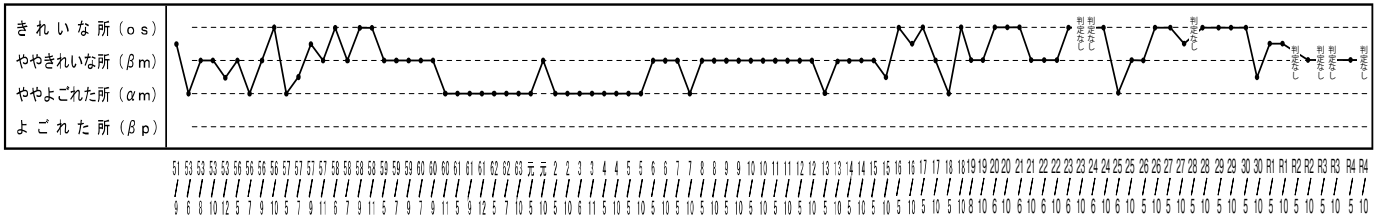
水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 am ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個 体 数 — ・・・ わずか (5以下) ++ ・・・ 中 位 (6~15) +++ ・・・ 多 い (16以上)

河川生物相調査水質判定経年変化

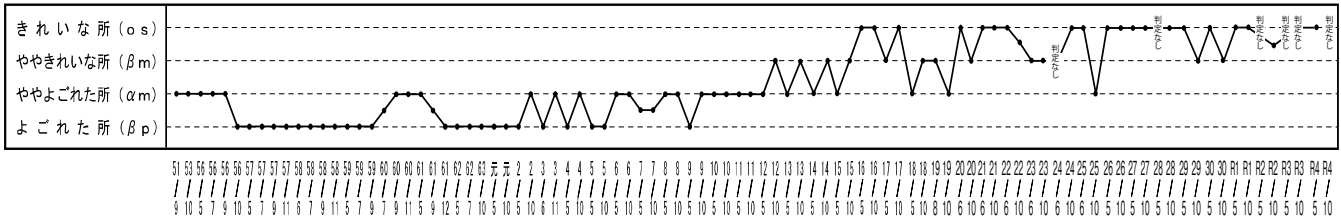
大戸橋 (境川)



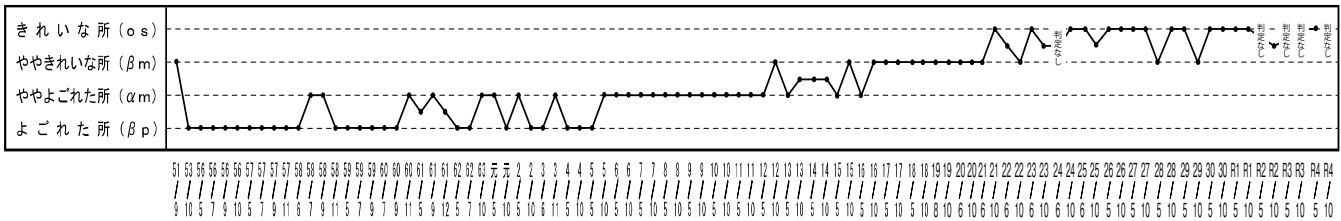
二国橋 (境川)



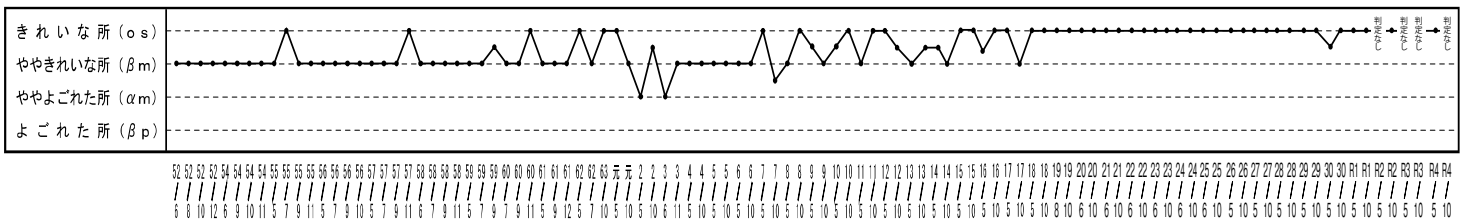
上中村橋 (境川)



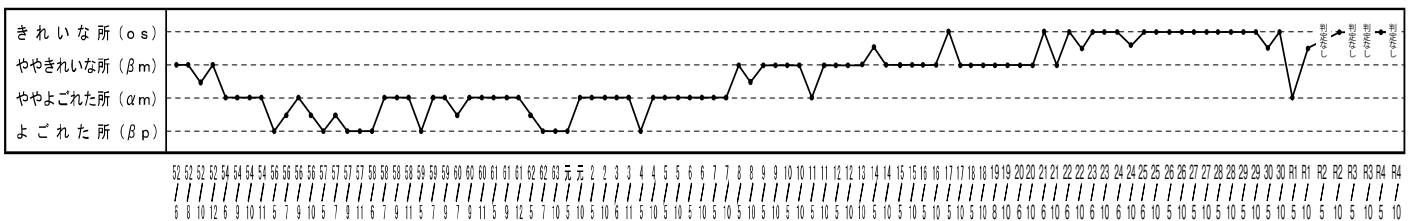
鶴金橋 (境川)



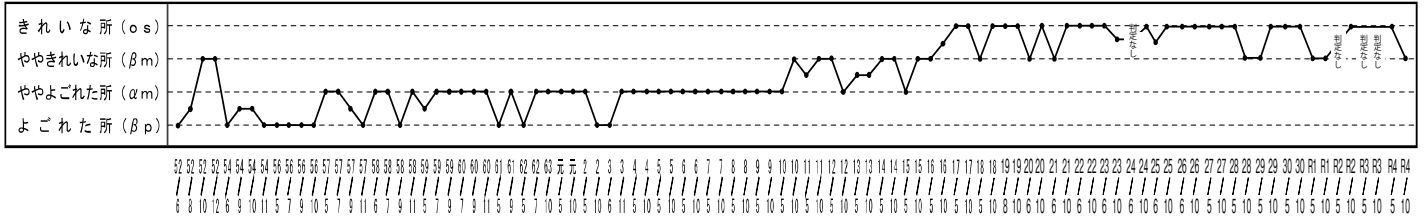
無量光寺下 (八瀬川)



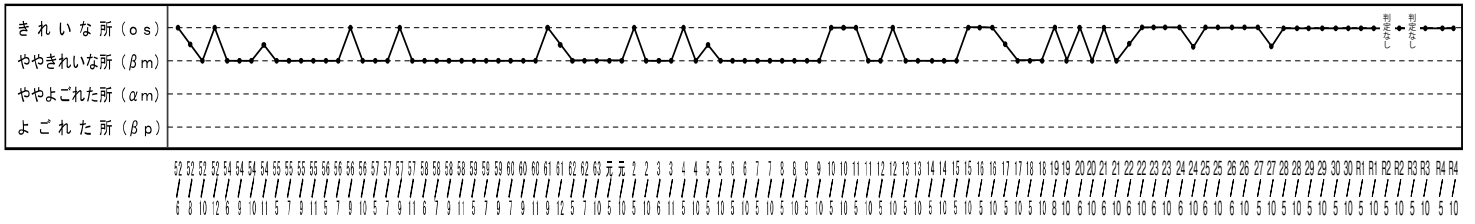
八幡橋 (鳩川)



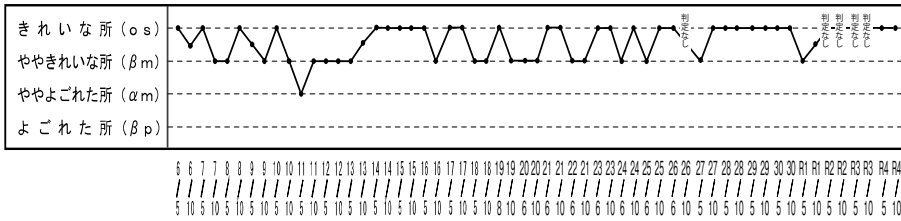
天応院下 (姥川)



泉橋上流(道保川)



昭和橋 (相模川)



役員名簿

令和5年4月現在

役職	会社名	代表者氏名	所在地
会長	日本山村硝子(株) 東京工場	浅見佳寿	緑区大山町3-45
副会長	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹内昌夫	中央区田名3000
理事	(株)ニコン 相模原製作所	黒田俊晴	南区麻溝台1-10-1
理事	アイダエンジニアリング(株)	鈴木利彦	緑区大山町2-10
理事	(株)オハラ	齋藤弘和	中央区小山1-15-30
理事	東京ガスネットワーク(株) 神奈川西支店	香川健	南区相模大野5-8-18
理事	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒川雅昭	中央区千代田6-12-25
理事	KYB(株) 相模工場	井関俊道	南区麻溝台1-12-1
理事	大和製罐(株) 東京工場	荻島和裕	緑区西橋本5-5-1
理事	(一財)生物科学安全研究所	濱岡隆文	緑区橋本台3-7-11
理事	プライムデリカ(株)	齊藤正義	南区麻溝台1-7-1
理事	東急建設(株) 技術研究所	井上論	中央区田名3062-1
理事	SWCC(株) 相模原事業所	野口一朗	中央区南橋本4-1-1
理事	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合貴之	中央区南橋本3-8-8
理事	東プレ(株) 相模原事業所	大崎正夫	中央区南橋本3-2-25
理事	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	浜田慎哉	南区大野台2-27-1
理事	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜生巖太郎	南区麻溝台1-4-1
理事	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷口敏	緑区西橋本5-8-1
監事	峡の原工業団地協同組合	河村淑行	緑区橋本台3-4-20
監事	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	小松秀一	中央区宮下1-1-57

会 員 名 簿

工場・事業所

令和5年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	アイダエンジニアリング(株)	鈴木 利彦	緑区大山町2-10
2	(株)アクア	中村 朋宏	南区大野台2-26-10
3	井上醤油(株)	井上 久雄	緑区大島1048
4	岩谷瓦斯(株) 相模原プラント	坂井 洋三	南区麻溝台1-10-1 (ニコソ内)
5	SWCC (株) 相模原事業所	野口 一朗	中央区南橋本4-1-1
6	尾崎理化(株) 本社	尾崎 勲	緑区根小屋1888
7	(株)オハラ	齋藤 弘和	中央区小山1-15-30
8	オルガノ(株) 開発センター	須田 信良	南区西大沼4-4-1
9	鹿島道路(株) 相模合材製造所	小野塚 英則	南区新戸983
10	(株)金井産業	金井 雅人	中央区田名5977
11	(株)河坂製作所	田坂 智	中央区田名3670
12	関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	嶋津 成昭	中央区宮下2-17-1
13	菊屋浦上商事(株)	浦上 裕生	中央区相模原6-26-7
14	(株)ケミックス	田中 勉	南区麻溝台3481
15	KYB(株) 相模工場	井関 俊道	南区麻溝台1-12-1
16	興建産業(株) 神奈川工場	大土 賢一	中央区田名塩田4-19-21
17	権田金属工業(株)	権田 有紀子	中央区宮下1-1-16
18	サガミ計測(株)	蒔田 建	南区下溝1892-1
19	(株)相模原ゴルフクラブ	井上 直樹	南区大野台4-30-1
20	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	佐々木 博行	中央区宮下1-1-12
21	三友プラントサービス(株)	小松 和史	緑区橋本台1-8-21
22	(株)三菱商事 相模原支社	和田 吉隆	緑区橋本台1-14-13
23	J A全農ミートフーズ(株) 神奈川工場	太田 寛次	中央区上溝1856
24	(株)シノテスト	塚田 聡	南区大野台5-16-41
25	(株)昭和真空	小俣 邦正	中央区田名3062-10
26	新相模酸素(株) 相模原工場	中島 太司	中央区宮下2-14-3
27	ステイ電子機器(株)	志田 正秀	中央区宮下3-13-11
28	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合 貴之	中央区南橋本3-8-8
29	スリーボンドファインケミカル(株)	土田 耕作	緑区大山町1-1
30	世紀東急工業(株) 相模原再生工場	横山 智浩	中央区田名2500-1
31	(株)成玉舎	福田 伸一	中央区宮下2-15-5
32	セントラル総合サービス(株)	井上 善勝	緑区西橋本3-10-30
33	総合銘板工業(株)	田中 桂之介	中央区宮下3-11-14
34	第一コンクリート(株) 相模原工場	高橋 一	中央区南橋本4-2-27
35	大栄フーズ(株)	岡 康人	南区相武台2-5-30
36	タイヨー印刷(株)	長田 功	中央区上溝4-9-10
37	大和製罐(株) 東京工場	荻島 和裕	緑区西橋本5-5-1
38	大和ハウス工業(株) 南関東支社 神奈川西支店	賤津 高広	中央区中央3-1-15
39	竹内貴金属工業(株)	竹内 忠夫	中央区南橋本3-9-17
40	田辺プラスチック機械(株) 相模原工場	渡邊 勲	南区北里2-30-11
41	津久井湖観光(株)	田原 憲和	緑区三ヶ木492
42	東榮電化工業(株)	山本 茂樹	中央区小町通2-5-9
43	東急建設(株) 技術研究所	井上 諭	中央区田名3062-1
44	東京化学塗料(株)	藤原 賢一	中央区淵野辺1-21-23

会 員 名 簿

工場・事業所

令和5年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
45	東京ガスネットワーク(株) 神奈川西支店	香 川 健	南区相模大野5-8-18
46	東京総合写真(株) 相模原工場	加 藤 光 一	中央区東淵野辺5-4-2
47	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒 川 雅 昭	中央区千代田6-12-25
48	東京特殊印刷工業(株)	寺 岡 健 郎	南区大野台2-12-6
49	東京メタルパック(株)	藤 橋 勝 治	中央区南橋本3-2-25
50	東京ライト工業(株) 相模原工場	崎 村 孝 陽	緑区根小屋1787-1
51	東プレ(株) 相模原事業所	大 崎 正 夫	中央区南橋本3-2-25
52	(株)戸田ゴルフクラブ	門 坂 治 雄	緑区長竹1838
53	(株)トッパンインフォメディア 相模原工場	前 屋 隆 雄	南区大野台2-29-20
54	(株)トッパンパッケージプロダクツ 相模原工場	浜 田 慎 哉	南区大野台2-27-1
55	(株)ニコン 相模原製作所	黒 田 俊 晴	南区麻溝台1-10-1
56	(有)西浦塗装工業所	瀬 戸 裕 昭	中央区淵野辺2-18-15
57	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜 生 厳太郎	南区麻溝台1-4-1
58	日鉄ドラム(株) 相模原工場	紅 谷 徹	緑区西橋本5-7-1
59	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷 口 敏	緑区西橋本5-8-1
60	日本化工機材(株)	大 澤 浩一郎	中央区淵野辺1-20-8
61	日本ゼトック(株) 相模原事業所	松 田 英 隆	緑区大山町1-5
62	日本電子工業(株) 相模原工場	竹 内 博 次	中央区宮下3-10-14
63	日本トーカンパッケージ(株) 相模原工場	木 岡 郁 治	南区麻溝台1-4-50
64	日本山村硝子(株) 東京工場	浅 見 佳 寿	緑区大山町3-45
65	(有)早川銘板製作所	早 川 正 彦	中央区田名3039-17
66	日立建機日本(株) 西関東支店 相模営業所	新 津 洋	中央区淵野辺2-5-8
67	福田道路(株) 相模原合材工場	風 間 健 二	中央区田名3385-1
68	富士工業(株)	柏 村 浩 介	中央区淵野辺2-1-9
69	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台1-7-1
70	ペンニットー(株)	櫻 井 健 一	中央区南橋本4-5-13
71	(株)宝月堂文具店	佐 藤 幸 一	中央区淵野辺3-19-9
72	マルマテクニカ(株) 相模原事業所	中 村 政 治	南区大野台6-2-1
73	美鈴紙業(株) 東京事業所	長谷川 和 也	緑区橋本台3-1-12
74	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹 内 昌 夫	中央区田名3000
75	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	小 松 秀 一	中央区宮下1-1-57
76	ミヤジフーズ(株)	宮 地 俊 二	南区古淵5-6-16
77	モリマーマテックス(株)	安 田 寿 之	中央区宮下1-2-27
78	(株)ヤマダコーポレーション	山 田 幸 太 郎	中央区宮下1-2-38
79	(株)ヤマダメタルテック	石 井 正 信	緑区西橋本3-12-9
80	(株)ヤマテコーポレーション	山 田 幸 太 郎	中央区田名3879
81	(株)ユニックス	平 田 徹	南区麻溝台6-17-6
82	ユニリーバ・ジャパン(株) 相模原工場	村 井 英 匡	南区大野台2-14-1
83	(株)ライト	佐々木 亮 一	中央区中央5-9-10
84	(株)リガルジョイント	小田中 奈穂美	南区大野台1-9-49
85	リバー(株) 相模原事業所	竹 崎 賢	緑区西橋本3-10-14
86	ロンザ(株) 相模原事業所	小 林 亨	中央区南橋本4-3-36

会 員 名 簿

公共事業所等

令和5年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	(学)青山学院大学	田 口 知 博	中央区淵野辺5-10-1
2	(学)麻布獣医学園	山 口 雄 弘	中央区淵野辺1-17-71
3	(学)和泉短期大学	須 田 拓	中央区青葉2-2-1
4	神奈川県水産技術センター内水面試験場	原 日出夫	緑区大島3657
5	(一財)北里環境科学センター	山 田 陽 城	南区北里1-15-1
6	(学)北里研究所	小 林 弘 祐	南区北里1-15-1
7	相模原機械金属工業団地協同組合	阿 部 仁	緑区橋本台2-7-28
8	相模原市農業協同組合 本店	小 泉 幸 隆	中央区千代田1-2-17
9	(学)女子美術大学	福 下 雄 二	南区麻溝台1900
10	(一財)生物科学安全研究所	濱 岡 隆 文	緑区橋本台3-7-11
11	峡の原工業団地協同組合	河 村 淑 行	緑区橋本台3-4-20

賛助会員

令和5年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部	古 屋 伸 夫	南区東林間1-25-10-210
2	相模原市ゼロカーボン推進課	角 田 小百合	中央区中央2-11-15
3	相模原市自治会連合会	竹 田 幹 夫	中央区富士見6-6-23
4	相模原市地域婦人団体連絡協議会	石 川 壽々子	中央区陽光台2-12-10
5	さがみはら地球温暖化対策協議会	竹 田 幹 夫	中央区富士見1-3-41

相模原の環境をよくする会会則

(名 称)

第1条 本会は、相模原の環境をよくする会と称し、事務局を相模原市役所内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公害防止技術の調査研究
- (2) 環境保全に係る調査研究
- (3) 研修会、講演会、視察等の実施
- (4) 環境の保全に係る啓発活動
- (5) 関係行政機関との連携及び協力
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 本会は、相模原市内にある工場、事業場等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 市内にある環境保全団体並びに市民団体等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員の前任期満了前における欠員補充は、会員が役員会の同意を得て、会員の中から選任する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在のときは、これを代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の前任期)

第9条 役員の前任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充により就任した役員の前任期は、前任者の前任期間とする。

3 役員は、前任期が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(事務局職員)

第10条 本会の事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1 名
- (2) 次 長 1 名
- (3) 書 記 若干名

2 事務局職員は、会長が委嘱する。

3 事務局長は、会の庶務を統括する。

4 次長は、事務局長を補佐し、事務局長不在のときは、その職務を代行する。

5 書記は、会の庶務を処理する。

(名誉会長及び顧問)

第11条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会 議)

第12条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総 会)

第13条 総会は、会員及び賛助会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長がこれを招集する。

3 通常総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるとき又は会員及び賛助会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。

4 総会の議長は、そのつど選出する。

5 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員を選出にすること
- (2) 事業計画及び事業報告にすること
- (3) 予算及び決算にすること
- (4) 会則の改廃にすること
- (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成し、会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。

3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会で議決した事項の執行にすること
- (2) 総会に提案すべき事項にすること
- (3) 予算の補正にすること
- (4) 総会で委任された事項にすること
- (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第15条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む。）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会費
- (2) 負担金
- (3) 補助金
- (4) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て別に定める。

附則

この会則は、昭和60年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成19年4月20日から施行する。

別 表

会費算定基準（第4条関係）

1 工場、事業場にあつては、次の表に定める資本金額及び従業員数により算出した合計点数に2,500円を乗じた額とする。

点 数 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8
資 本 金 額	5千万 円未満	5千万 円以上 1億円 未満	1億円 以上 3億円 未満	3億円 以上 5億円 未満	5億円 以上 10億円 未満	10億円 以上 50億円 未満	50億円 以上 100億円 未満	100億 円以上
従 業 員 数 (人)	10 未満	10 以上 50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上 1,500 未満	1,500 以上 2,000 未満	2,000 以上

2 公共事業所（相模原市役所を除く。）その他これに類する事業場
一律10,000円を会費とする。

3 相模原市役所は200,000円を会費とする。

相模原の環境をよくする会細則

(入 会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

(退 会)

第2条 会員が退会しようとするときは、理由を付して届け出るものとする。

(変 更)

第3条 入会申込書に記載した事項のうち会長が必要と認める事項に変更があったときは、会員は、速やかに所定の変更届により届け出るものとする。

(会 費)

第4条 会費は年額とし、毎年5月1日から6月30日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、入会と同時に納入するものとする。

2 前項ただし書の規定により算出した額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 既納の会費は、これを返還しない。

(負担金)

第5条 規定会費の他に特定の事業を行う場合、会長は、役員会の同意を得て、会員に対し負担金を請求することができる。

(名誉会長及び顧問)

第6条 名誉会長及び顧問は、会長が、役員会の同意を得て、委嘱するものとする。

2 名誉会長及び顧問の任期は、委嘱された日から、その日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(会 計)

第7条 本会の会計のうち、予算執行上の処理については、次のとおりとする。

(1) 予算の執行は、事務局長が行う。

(2) 補正は次のとおりとし、役員会の決定を得て行うものとする。

ア 項及び目の設定又は廃止

イ 予算総額の10パーセント以上の支出を伴う予算額の変更

ウ 項間の予算額の移動で、当初計上した予算額の20パーセント以上を他の項に移動する場合

(3) 流用は次のとおりとし、事務局長の裁量で行うものとする。

ア 項間の予算額の移動で、補正に該当しない場合

イ 目間の予算額の移動

(4) 充当は、予備費を他の項及び目に使用する場合であり、事務局長の裁量で行うものとする。

(報 酬)

第8条 本会の役員及び事務局職員は、無報酬とする。

(文書管理)

第9条 本会の文書の保存期間は、別表のとおりとする。

2 保存期間が過ぎた文書は、速やかに廃棄するものとする。ただし、特に必要と認められる文書については、会長が役員会の同意を得て、保存期間を過ぎた後も保管することができる。

3 前項の規定により文書を廃棄するときは、役員会の決定を得なければならない。

4 個人情報が含まれる文書を廃棄するときは、廃棄後に情報が読み取れないように配慮しなければならない。

附 則

この細則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成19年4月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年11月7日から施行する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

別表（第9条関係）

文書の区分	保存期間
会則、細則及び規定 入会申込書 退会届 変更届 会員名簿 総会議事録（議案書を含む。） 役員会議事録 委託契約書類 会報（創刊号から）	常用
収入伺 支出命令書 銀行預金通帳	10年
総会及び役員会関係書類（他の区分に属するものを除く。） 事業関係書類（他の区分に属するものを除く。）	5年
その他軽易な文書	1年

備考 保存期間は、文書を作成し、又は取得した事業年度（契約期間のある契約書等一定期間効力を有する文書については、その期間の満了した事業年度）の次の事業年度の初日から計算するものとする。

表彰に関する規定

(趣 旨)

- 1 相模原の環境をよくする会（以下「本会」という。）の事業を通じて環境の保全・浄化に功労のあったものを表彰することに関して必要な事項を定める。

(表彰状及び感謝状の贈呈)

- 2 功労者には、次により表彰状又は感謝状を贈呈する。
 - (1) 環境の保全・浄化に功労のあった個人及び団体
 - (2) 本会の役員として10年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった役員会社
 - (3) 本会の役員として5年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった個人

(被表彰者の決定)

- 3 会長は、表彰状及び感謝状を贈呈しようとするときは、あらかじめ役員会の同意を得なければならない。

附 則

- 1 この規定は、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 相模原の河川をきれいにする会及び相模原の青空を守る会の役員在職年数は、本会の役員在職年数とみなす。

附 則

この規定は、平成7年4月1日から適用する。

入会申込書

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

貴会の目的及び会則に賛同して、下記により入会を申し込みます。

工場又は事業所名	
所 在 地	
資 本 金	
従 業 員 数	
担 当 者 氏 名	
担 当 者 所 属	
電 話 番 号	
Eメールアドレス	

※従業員数は、相模原市における工場又は事業所の人数をご記入ください。

退会届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

電話番号

(_____)

下記の理由により、相模原の環境をよくする会を退会します。

(理由)

変 更 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____

電話番号 () _____

下記のとおり届け出ます。

【事業所関係】

	新	旧
名 称		
所 在 地		
電話番号		
E-mail		

【役員関係】

		所 属	役 職	氏 名	備 考
代表者	旧				
	新				
担当者	旧				
	新				

変更日 _____ 年 月 日 _____

(変更理由)

澄んだ水 あふれる緑 青い空 みんなで築こう相模原

(スローガン)

令和 5 年 4 月

相模原の環境をよくする会

事務局(相模原市 環境経済局 ゼロカーボン推進課)

TEL 042(769)8240

FAX 042(769)4445

印刷 タイヨー印刷(株) TEL 042(762)2157



澄んだ水あふれる緑青い空
みんなで築こう相模原